

# 【生産管理システム】が「ムダの温床」になる理由 生産管理システムの 正しい使い方

～ベンダーは使い方は教えてくれない！【正しいシステム活用法】で「ムダ・コスト」を削減～

日時 2024年7月17日(水) 10:00～17:00  
(9:30 受付開始)

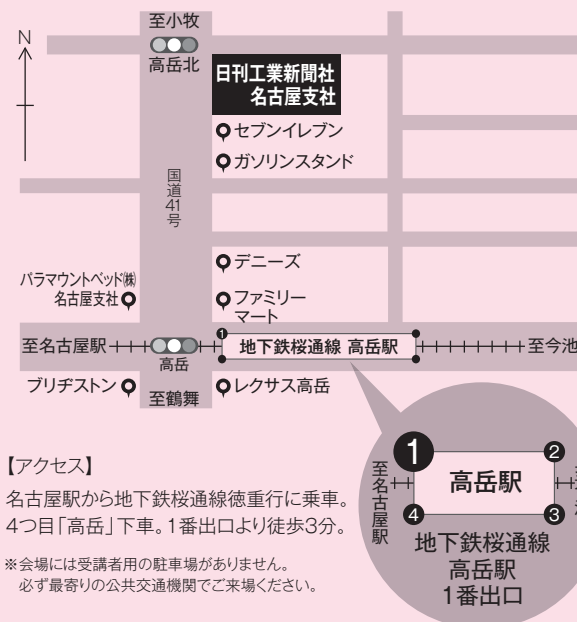
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

## 日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。  
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。 (担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。  
振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

## 申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG  
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

## 受講申込書

7/17 生産管理S

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247545

# 開催主旨

製造業者で「生産管理システム」や「ERPシステム」を利用していない企業はほとんどいなくなりました。ところが、高額な生産管理システムを導入したけれども…

- ・ 期待した効果はほとんど上がっていない
- ・ 生産管理システムの運用自体が膨大な手間とムダを生んでいる
- ・ システムベンダに活用方法を聞いても教えてくれない
- ・ システムだけでは不十分なのでExcelに頼っている
- ・ ベンダからサポート切れを宣告された

こんな実態はありませんか？

半導体不足などを起因とした調達品の欠品や生産計画変更が多発しており、従来に増して生産管理システムを活用した業務運営やサプライチェーンマネジメント (SCM) の強化が重要となってきています。ところが…

生産管理システムの「操作方法」はベンダーがマニュアルにしてくれますが、生産管理システムをどう使って、いかに生産性を上げ、ムダ、コストを削減するか？生産管理システムの「使い方」までは教えてはくれません。システムに使われてはいけません。生産管理システムは、使いこなし、生産性を上げてこそ初めて価値が生まれます。

本講座では、3つの視点から生産管理システムの正しい使い方を解説します

- ・ 生産管理システムの役割と活用目的をわかりやすく解説します
- ・ 生産管理パッケージのベースとなっているMRPやスケジューリングの仕組みと限界を解説します
- ・ 生産管理システムへのユーザ部門参画の意味と参画してもらうための秘訣を解説します


※受講者へは講師著書「『生産管理システム』の正しい使い方」(日刊工業新聞社)を受講当日配布します。

## 講師

株式会社ほんま 代表取締役 **本間 峰一 氏**

(中小企業診断士、システムアナリスト、ICT経営パートナーズ協会理事)

### 【略歴】

NEC製造システム事業部、みずほ総合研究所コンサルティング部を経て、独立。  
中堅製造業者の収益性改善、生産管理システム活用支援を中心とした経営コンサルティング活動を実施 (コンサルティング実績: 約160社)  
企業の利益向上点からのアプローチを特徴としており、工場改善支援とは一味違うコンサルティングを行う。過去にコンサルタントを使ったことのある経営者や工場関係者からも「目から鱗」な指摘をもらったと高評価を集めている。  
現在、埼玉県DX推進支援ネットワークが配信している動画にご出演しています。  ←こちらよりご覧ください。

### 【主な著書】

- ・ 誰も教えてくれない「工場の損益管理」の疑問
- ・ 社長が「在庫削減!」と言い出した会社は成長しない
- ・ 超高速開発が企業システムに革命を起こす
- ・ 受注生産に徹すれば利益はついてくる
- ・ コストダウンが会社をダメにする
- ・ 正しい生産管理システムの使い方 ほか

## プログラム

### 1 こんな生産管理システムではダメだ

- 1.1 経営者からムダ金使いといわれている
- 1.2 伝票発行機としてしか使われていない
- 1.3 実績収集の手間が現場の不満を生んでいる
- 1.4 減らすはずだった在庫が増えてしまった

### 2 何のために生産管理システムは入れるのか

- 2.1 間接要員の事務工数とExcel利用を削減する
- 2.2 コストを削減して利益を増やす
- 2.3 リードタイムを短縮して在庫を減らす
- 2.4 生産の平準化を実現して生産性を高める

### 3 MRPロジックが業務のムダを生み出している

- 3.1 大半の生産管理 (ERP) パッケージはMRPで動いている
- 3.2 欧米企業はMRPをMRPⅡへ進化させたが、日本企業では難しい
- 3.3 MRPの弱点をMES (製造実行システム) の追加導入でカバーする
- 3.4 MRPをSCMで補う提案はなぜうまくいかないのか

### 4 生産管理システムを宝の持ち腐れにしないために

- 4.1 生産管理パッケージ利用の利点と留意点
- 4.2 現場を巻き込んで効果を生み出すための秘訣
- 4.3 システム自体よりもマスタ管理が重要だ
- 4.4 ジャスト・イン・タイムからジャスト・イン・ケースへ